

平成 30 年度

全国学力・学習状況調査の 結果について



あいさつの日時計

平成 30 年 12 月
海老名市立柏ヶ谷小学校

目次

全国学力・学習状況調査について	P. 1
「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 2
「算数に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 3
「理科に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 4
「児童質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」	P. 5
ご家庭で取り組んでいただきたいこと	P. 6



資料 学習・生活習慣と学力との関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童・生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
(教科に関する調査、児童・生徒質問紙調査より)

【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【学校生活】

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【基本的な生活習慣】

- ・朝食を毎日食べる
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【社会に対する興味・関心】

- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がある
- ・新聞を読んでいる
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に興味がある

【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で計画を立てて学習をする
- ・学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【家庭でのコミュニケーション】

- ・家の人と学校での出来事について話をする
- ・家の方は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【自尊感情・規範意識】

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・学校のきまり、規則を守っている
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【基本的な生活習慣】

- ・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成22～24年度は抽出調査(平成23年度は震災の関係で実施を中止)でしたが平成25年度から再び、全国すべての小中学校が対象となりました

◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

◆ 調査の対象

- 国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒
- ・ 小学校第6学年
 - ・ 中学校第3学年

◆ 調査内容

(1) 教科に関する調査

【小学校】

- 国語A・算数A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・算数B (主として「活用」に関する問題)
- 理科 (主として「知識」「活用」に関する問題)

【中学校】

- 国語A・数学A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・数学B (主として「活用」に関する問題)
- 理科 (主として「知識」「活用」に関する問題)

「主として『知識』に関する問題」とは？

これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？

身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

(2) 児童生徒に対する質問紙調査

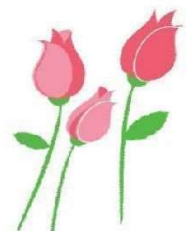
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

(3) 学校に対する質問紙調査

指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

◆ 調査実施日

平成30年4月17日(火)



国語に関する調査結果

国語 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

○相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話すことは、相当数の児童ができている。

○日常生活で使われている慣用句の意味を理解して、自分の表現に用いることは、相当数の児童ができている。

【今年度出題】心を打たれる

《努力を要する所》

○学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことに課題がある。

【今年度出題】せい造 せつ備
しょう毒 かん理 せつ極的

○文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書くことに課題がある。

【考察】

◆学んだ漢字や文の書き方を、日常的に「書く」活動にいかせるような、教育活動の工夫が求められる。

国語 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

○話し合いの参加者として、質問の意図を捉えることは、相当数の児童ができている。

《努力を要する所》

○話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめることに課題がある。

○目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書くことに課題がある。

○目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むことに課題がある。

【考察】

◆自分の考えをまとめたり、必要な内容を整理したりして書くことに課題があり、指導の工夫が求められる。

◆相手の主張を捉える「読む」「聞く」力をつけるとともに、自分の考えを形成し、相手意識・目的意識をもって「書く」「話す」指導の工夫が求められる。



これまでの取組から

○漢字の確実な習得のために、漢字の読み書きの機会を多く設定するとともに、家庭学習としても取り組み、習熟度の向上を図ってきました。

○相手に伝わる話し方や、目的や意図に応じた話し方ができるよう、朝の会のスピーチなどで話す機会を設定し、話す活動の充実を図ってきました。

今後の具体的な取組について

○漢字の確実な習得をめざすために、習得した漢字を書いたり読んだりして使う機会を多く設定し、計画的に指導していきます。

○自分の考えをまとめるときには理由を明確にすること、必要な内容を整理して書くときには具体的な事実と自分の意見などを区別することを、重点として指導していきます。

算数に関する調査結果

算数 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

○面積がそろっている二つのシートの混み具合の比べ方について、相当数の児童が理解している。

《努力を要する所》

○200人のうち80人が小学生のとき、小学生の人数は全体の人数の何%かを選ぶなど、百分率を求めることに課題がある。

○円周率を求める式を選ぶ問いで、円周率の意味についての理解に課題がある。

○単位量当たりの大きさを求めるときの、除法の式と商の意味の理解に課題がある。

【考察】

◆単に記憶するのではなく、意味を理解し、関連付けながら、基礎的な学力の定着を図る必要がある。

算数 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

○折り紙の輪の色の規則性を解釈し、それを基に条件に合う色を判断することは相当数の児童ができています。

《努力を要する所》

○結果の理由を、示された数量を関連付け根拠を明確にして記述することに課題がある。

○情報とグラフを関連付け、総数や変化に着目していることを解釈し、それを記述することに課題がある。

○示された考え方を解釈し、ほかの数値の場合を表に整理し、条件に合うものを判断することに課題がある。

【考察】

◆示された考え方を解釈したり、求め方を記述したりする問題の正答率が低いことから、説明をしたり聞いたりする活動の指導の工夫が求められる。

これまでの取組から

- 基礎的・基本的な計算技能については、継続的な指導とともに、家庭学習としても取り組み、計算は定着してきています。
- 新しい問題に取り組む際、既習学習の内容を手がかりに、自分で考えたり説明したりする学習活動の充実を図ってきました。

今後の具体的な取組について

- 基礎的な学力の確実な定着を図るために、日常的に計算の反復練習を行うとともに、既習学習の振り返りを随時行っていきます。
- 根拠となる考えを基に、言葉や式を使って論理的に考えたり説明したりする活動のさらなる充実を図ります。



理科に関する調査結果

《優れている所》

- 流されてきた土や石を積もらせる水の働きについて、相当数の児童が科学的な言葉や概念（堆積作用）を理解している。
- 海水と水道水を区別するために、実験から得られた結果を基に判断する問題で、相当数の児童が、より妥当な考えをつくりだすために、2つの異なる方法の実験結果を分析して考察できる。

《努力を要する所》

- 一度に流す水の量と棒の様子との関係から、水の量が増えたときの地面の削られ方を考えるなど、より妥当な考えをつくりだすために、実験結果を基に分析して考察し、その内容を記述することに課題がある。
- 上流側の雲の様子や雨の降っている所と下流側の川の水位の変化から、その関係について言えることを選ぶなど、より妥当な考えをつくりだすために、複数の情報を関係付けながら、分析して考察することに課題がある。
- 太陽の位置の変化と光電池に生じる電流の変化の関係を利用するなど、科学的事象を、目的に合ったものづくりに適用することに課題がある。
- 予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して、実験を構想することに課題がある。

【考察】

- ◆問題解決学習を通して、複数の情報から分析したり考察したりすることや、それを記述して説明することに課題があり、授業での工夫が求められる。
- ◆科学的事象についての知識を得るだけでなく、それを活用するなどの教育活動の工夫が求められる。

これまでの取組から

- 日頃から、多様な経験をする場を設定するとともに、学習した内容と身の回りで見られる事物・現象について、結びつけて考えられるよう指導しています。

今後の具体的な取組について

- 授業の中で、仮説を立てたり、結果を見通したり、実験の結果から考察したりする活動を通して、一人ひとりが、イメージ図や言葉（科学的用語を含む）を使って表現できるよう指導していきます。
- 問題解決学習において、対話を通して自らの考えを整理したり、新たな考えを生み出したり、考えを関連付けたり、考えの根拠を明らかにしたりするなど、論理的思考を働かせて互いに考えを深められるようにします。
- 多様な体験とともに、科学的知識を日常に結び付けるような活動をさらに工夫するなど、子どもの興味関心を一層高め、実感を伴った理解へとつなげていきます。



児童質問紙の結果より

学習について

《よかった所》

- 相当数の児童が、大切さや必要性を理解しながら算数の授業に臨んでいる。
- 相当数の児童が、理科の授業の内容をよく理解していると答え、観察や実験を行うことを好んでいる。
- 相当数の児童が、家で学校から出された宿題をしている。

《課題と思われる所》

- 家で、自分で計画を立てて勉強している児童が少ない。
- 家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習をするとき、教科書を使いながら勉強している児童が少ない。
- 算数の授業で、学習したことを普段の生活の中で活用できないかを考えている児童が少ない。

生活について

《よかった所》

- いじめはどんな理由があってもいけないことだと相当数の児童が認識している。
- 人の役に立つ人間になりたいと相当数の児童が思っている。
- 将来の夢や目標を持っている児童が相当数いる。

《課題と思われる所》

- 規則正しい時刻に寝たり起きたりできていない児童がいる。
- ボランティア活動に参加したり、地域の行事に参加したりしている児童が少ない。
- 地域や社会をよくするために、何をすべきかを考えることがある児童が少ない。

これまでの取組から

- 校内研究での積み重ねの成果として、理科学習に意欲を示す児童が多く、特に観察や実験を行うことを好む児童が増えています。
- 学校からの宿題を計画的に出すことにより、大多数の児童が毎日宿題に取り組んでいます。

今後の具体的な取組について

- 規則正しい生活ができるよう、その大切さを引き続き呼びかけていきます。
- 学習したことを他教科や日常生活でいかせるよう、汎用的な学びにしていけるための授業を工夫していきます。



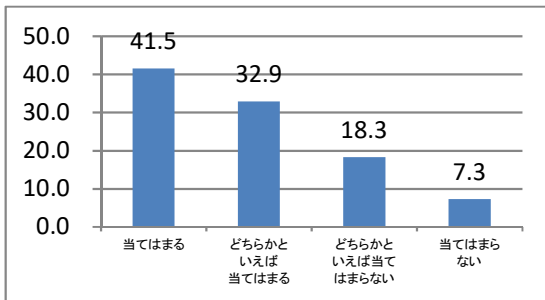
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成30年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい6つの項目」をまとめました。できることから、ぜひ、始めてください。

1 規則正しい生活習慣を身につけましょう。

就寝時刻、起床時刻を決め、必ず朝食をとって学校に登校させてください。

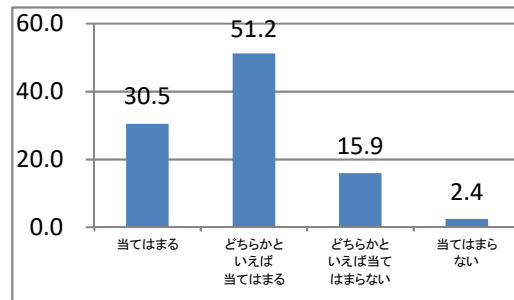
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。



2 子どものよいところを見つけ、認め、褒めましょう。

自己肯定感が高まり、自信をもって主体的に行動できるようになります。

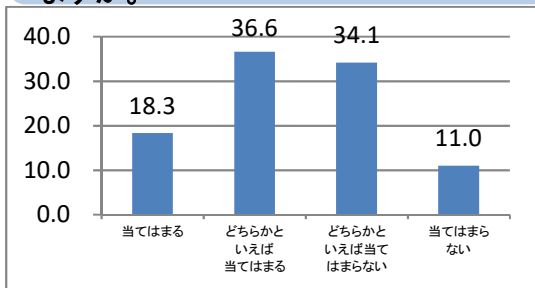
自分にはよいところがあると思いますか。



3 自分で計画を立てて、家庭学習に取り組みましょう。

宿題を含め、予習、復習など、お子さん自身が考えて取り組めるよう励ましてください。

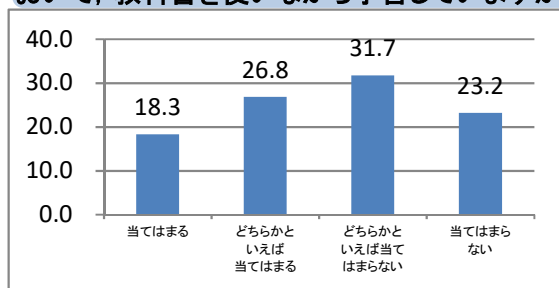
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。



4 教科書を活用して、自学自習に取り組みましょう。

教科書を有効活用し、学校での学びを振り返りながら、家庭学習に取り組めるよう励ましてください。

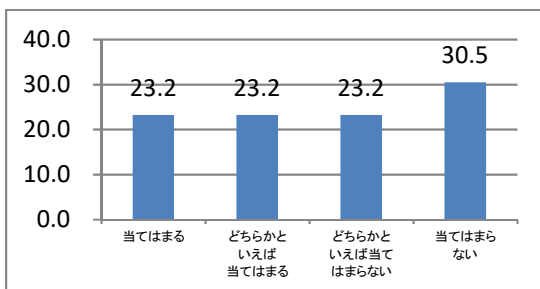
家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか。



5 地域の行事に参加しましょう。

地域の行事に親子で参加するなど、地域の一員としての意識を育てていきましょう。

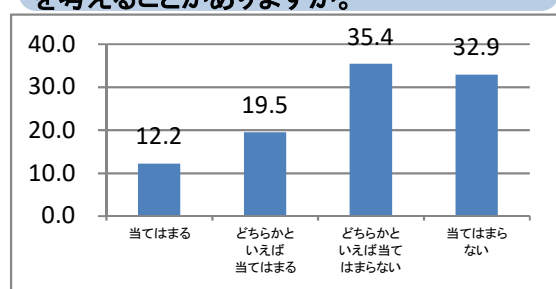
今住んでいる地域の行事に参加していますか。



6 地域や社会に目を向けてみましょう。

地域や社会について、家庭でも話題にすることで、社会に参画する意識と態度を育てます。

地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。





おもいやりの塔

